

副校長会だより

令和8年9月 8日

No. 230

東京都公立小学校副校長会

E-mail: tosyoo@tosyoo.jp

URL <http://www.tosyoofuku.com>

※本来であれば、7月幹事研修会後に発行する予定でしたが、発行いたしませんでした。大変申し訳ありませんが、9月の発行ですが7月号として発行させていただきます。

つながりを力に、学校を元気にする副校長会へ

副会長 総務部長 紅谷 昌元

一学期を終え、学校は夏休みを迎えました。子供たちの声がなくなった校舎の中でも、各校の副校長先生方におかれましては、研修や工事対応、二学期の準備など、引き続き多忙な日々を過ごされていることと存じます。厳しい暑さが続きますが、どうか心身を休める時間も大切にしたいと思います。平素より東京都公立小学校副校長会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



副校長の仕事は、実に多岐にわたります。教職員への指導・助言、保護者や地域への対応、教育委員会との連絡調整、施設管理、サービス管理、危機管理など、学校内外の人や組織をつなぎ、学校を前へ進める役割を担っています。次々と判断を求められる中で、「自分が何とかしなければ」と、一人で抱え込んでしまうこともあるのではないのでしょうか。



しかし、学校は一人の力だけで動かすものではありません。副校長に求められるのは、すべてを自分で引き受けるのではなく、教職員一人一人の力を生かし、組織として課題を解決できる学校をつくることです。その出発点となるのが、日々の対話です。

「何か困っていることはありませんか」「一緒に考えましょう」「ありがとうございます」。こうした短い言葉が、教職員の安心感を生み、相談しやすい職場の雰囲気をつくります。副校長が

相手の話に耳を傾け、思いを受け止めることで、互いに支え合い、学び合う関係が学校全体に広がります。

私自身も、忙しさを理由に、人との関わりを後回しにしないことを心がけています。忙しいときほど一度立ち止まり、相手の顔を見て声をかける。小さな変化に気づき、感謝を言葉にする。その積み重ねが、教職員の「働きやすさ」と「働きがい」を支え、学校を元気にする力になると考えています。

人を育てることも、副校長の重要な役割です。教職員に役割と裁量を与え、挑戦を支える。うまくいかなかったときには共に振り返り、次の一歩につなげる。教職員と共に考え、伴走することで、次代の学校を支える人材が育ち、誰か一人の頑張りに依存しない学校づくりにつながります。

そして、副校長自身も一人ではありません。苦しいときに悩みを語り合い、困ったときに知恵を出し合える仲間が、都内各地にいます。学校や自治体の枠を越えて、互いの実践から学び、励まし合い、支え合う。そのつながりこそが、私たち副校長の力です。本会を、誰もが安心して声を届け、明日への力を得られる場にしていきましょう。

今年度の要請活動に向けたアンケートにも、多くの先生方から切実な声をお寄せいただきました。改めて感謝申し上げます。一人の声では動かすことが難しい課題も、全都の副校長の声を結集すれば、大きな力になります。皆様の声を具体的な提言としてまとめ、東京都教育委員会や都議会等へ確実に届けてまいります。

副校長の業務改善は、副校長だけのための働き方改革ではありません。副校長が学校経営、教職員の育成、児童への支援に力を注げる環境を整えることは、子供たちの安全・安心と学びを守り、学校教育の質を高めることに直結します。だからこそ、学校現場の実情を伝え、必要な改善を粘り強く求めていくことが大切です。

一人で抱え込まず、互いにつながり、知恵と力を出し合う。それぞれの学校での一歩を、東京全体を動かす大きな一歩へとつなげていきましょう。

子供たちの笑顔のために、教職員が希望をもって働ける学校のために、そして、私たち副校長自身が誇りとやりがいをもって働き続けるために——共に支え合い、共に声を上げ、共に学校を元気にしていきましょう。

東京都公立小学校副校長会 第2回幹事研修会

令和8年7月2日(木)15:00～16:30

於:国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟304

司会(紅谷昌元) 受付(立川市:渡邊義男)

◇ 開会の言葉

◇ 会長挨拶

I **連絡・報告事項**

1 報告事項

- (1) 6月 5日(金) 全国公立学校教頭会定期総会
※代議員によるハイブリッド開催:田代会長、紅谷副会長、他事務局担当者会議 吉田事務局長
- (2) 6月11日(木) 会計担当者会 15:00～
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟403
- (3) 6月22日(月) 都管協連絡協議会 都管協事務局 田代会長、富岡要請部長
- (4) 6月26日(金) 役員研修会② 事務局 15:30～ ハイブリッド開催

2 当面の予定

- (1) 7月 3日(金) 全公教研究部長会 オンライン開催 室本研究副部長
- (2) 7月10日(金) 全公教要請担当者研修会 富岡要請部長
- (3) 7月24日(金) 第59回島しょ副校長連絡協議会 浜松町、島嶼会館 田代会長
- (4) 7月24日(金) 役員研修会③ 事務局 15:00～
- (5) 7月30日(木)～31日(金)全国公立学校教頭会研究大会札幌大会
- (6) 8月21日(金) 役員研修会④ 事務局 15:30～ ハイブリッド開催
- (7) 9月 3日(木) 幹事研修会③ 15:00～ ハイブリッド開催
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟304
- (8) 9月 4日(金) 全公教理事会① 田代会長

II **協議事項**

1 情報交換

- (1) 目黒区 (2)東村山市 (3)国分寺市

《総務部より》

- (1) 8年度都議会各派への要望書について……………（要請部原稿、別紙1）
※7月の幹事研修会資料として、役員会での要望案を添付する。
※ヒアリング日程・・・未定
- (3) 全国調査について
 - ・団体調査 事務局がGoogle フォームにて回答
 - ・個人調査 全公教HPよりダウンロードし、各個人が回答する。
 - ・両者とも6月8日～7月3日まで。※全公教調査協力文書は前幹事会で配布済み

《研究部より》

- (1) 研究発表大会
 - 8年度 都小副校長会第67回研究発表大会……………（別紙2）
日時：令和9年2月10日（水） 9時30分～16時00分
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
担当地区：新宿区、江戸川区、渋谷区、豊島区、狛江市、武蔵村山市、あきる野市、町田市
 - 9年度 都小副校長会第68回研究発表大会
担当地区：千代田区、大田区、中野区、練馬区、国立市、東村山市、羽村市、日野市
 - 10年度 都小副校長会第69回研究発表大会
担当地区：文京区(全国)、江東区、目黒区、荒川区(関ブロ)、武蔵野市、国分寺市、東久留米市、西多摩郡
 - 11年度 都小副校長会第70回研究発表大会
担当地区：足立区、品川区、杉並区、板橋区(関ブロ)、三鷹市、西東京市、清瀬市、多摩市
- (2) 関ブロ研究大会
 - 8年度（埼玉大会）、9年度（栃木大会）……………中学校担当
 - 10年度（新潟大会）……………発表担当地区：荒川区（2A分科会）
 - 11年度（群馬大会）……………発表担当地区：板橋区（5A分科会）
- (3) 全国研究大会について
 - 8年度（札幌大会）ハイブリット開催
 - 9年度（兵庫大会）ハイブリット開催
 - 10年度（島根大会）……………発表担当地区：文京区（第5B分科会）
 - 11年度（熊本大会）ハイブリット開催

《広報部より》

- (1) 「東京の副校長」第173号表紙・学校紹介……………杉並区立高井戸小学校
地区プロフィール担当地区：渋谷区、板橋区、狛江市、日野市
業者に提出済、第1稿上がり待ち、7月中旬に配送予定
- (2) 「東京の副校長」第174号表紙・学校紹介……………豊島区立要小学校
地区プロフィール担当地区：中央区、杉並区、武蔵村山市、羽村市
- (3) 「東京の副校長」第175号表紙・学校紹介……………品川区立第二延山小学校
地区プロフィール担当地区：小平市、立川市、町田市、新島

《会計部より》

(1) 令和8年度 都小副校長会負担金および全公教負担金について

6月11日(木)会計担当者会を実施し、各地区会計に提示済み

※ 都小副校長会費 : 14,000 円 全公教会費 4,000 円

都小副校長会厚生部費(全員) : 2,000 円

※ 昇任者(昇任年度のみ)負担金

都小副校長会運営資金 : 2,000 円 全公教運営活動資金 5,000 円

Ⅲ 9月幹事研修会について

(1) 日時: 9月3日(木) 15:00～16:30

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟304

(2) 資料配布予定の主な内容

- ・全国大会報告
- ・都議会各派とのヒアリング報告
- ・関ブロ大会について

Ⅳ その他

◇ 閉会の言葉

別紙詳細につきましては、地区幹事にお問い合わせください。